

たのしいおしごとにつき

–Power Platformによる日報管理システムの構築とデータ活用 episode 0–

○原 真波

(三井金属株式会社 経営企画本部
人事部 労政室 ステップ&サポートセンター)

○馬場崎 洋貴

(三井金属株式会社 経営企画本部
人事部 労政室 ステップ&サポートセンター 主査)



目的



実習に来てくれた人に「何か持ち帰つてもらいたい!!」という気持ちから、自社で使っているPersonal Fileの一部を提供することに決めました。

事務、清掃、営業 等





会社概要

社名	三井金属株式会社(Mitsui Kinzoku Company, Limited)
代表者	代表取締役社長 納 武士
本社所在地	東京都品川区大崎1-11-1
設立	1950(昭和25)年5月1日
資本金	42,289百万円(2025年3月末)
売上高	(連結)712,344百万円(2025年3月期) (単体)356,352百万円(2025年3月期)
従業員数	連結12,097名 単体 2,473名(2025年3月末)
事業内容	機能材料・電子材料の製造・販売、非鉄金属製鍊、資源開発、貴金属リサイクル、素材関連事業、自動車部品の製造・販売 等





国内障がい者雇用職場



三池事務所
ラクーン(障がい
者雇用洗濯職場)

上尾事務所
名前未定(障がい者
雇用洗濯職場)

26年度
開設予定

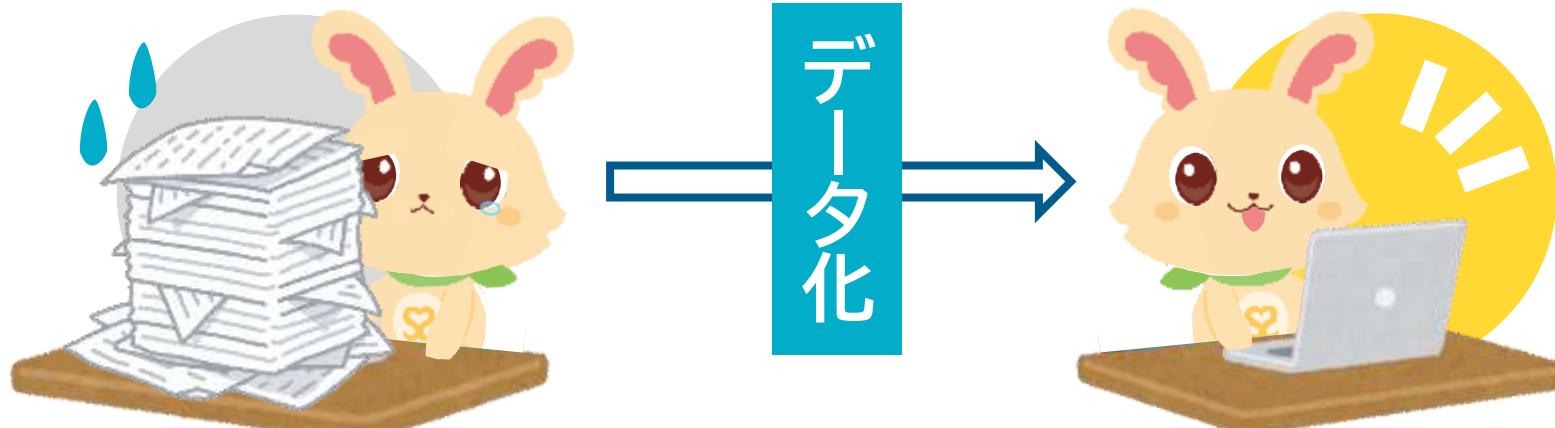
大崎本社
ステップ&サポートセン
ター(障がい者雇用職場)





前回の振り返り

Power BIによるデータの自動処理によって、業務の稼働だけでなく、**体調や疲れ、睡眠時間**といったデータが可視化されている



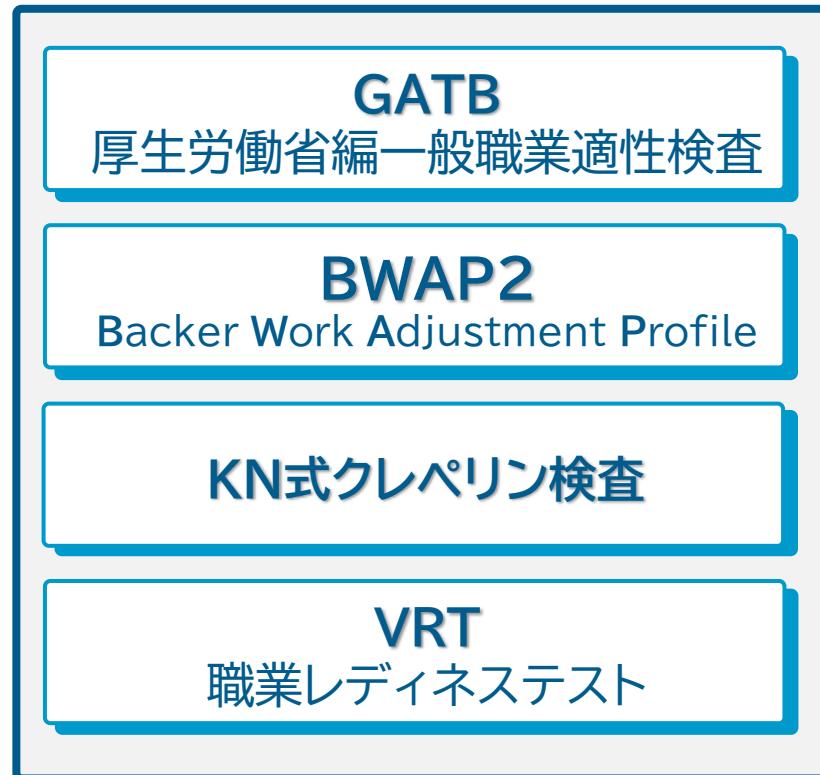


Personal File導入に向けたアップデート

分析用データの追加

社員の障がい特性だけでなく、性格や興味などをより詳しく知るため、以下4つの検査を実施し、その検査結果をデータとして追加した。

従来の日報システム



データ化

Personal
File

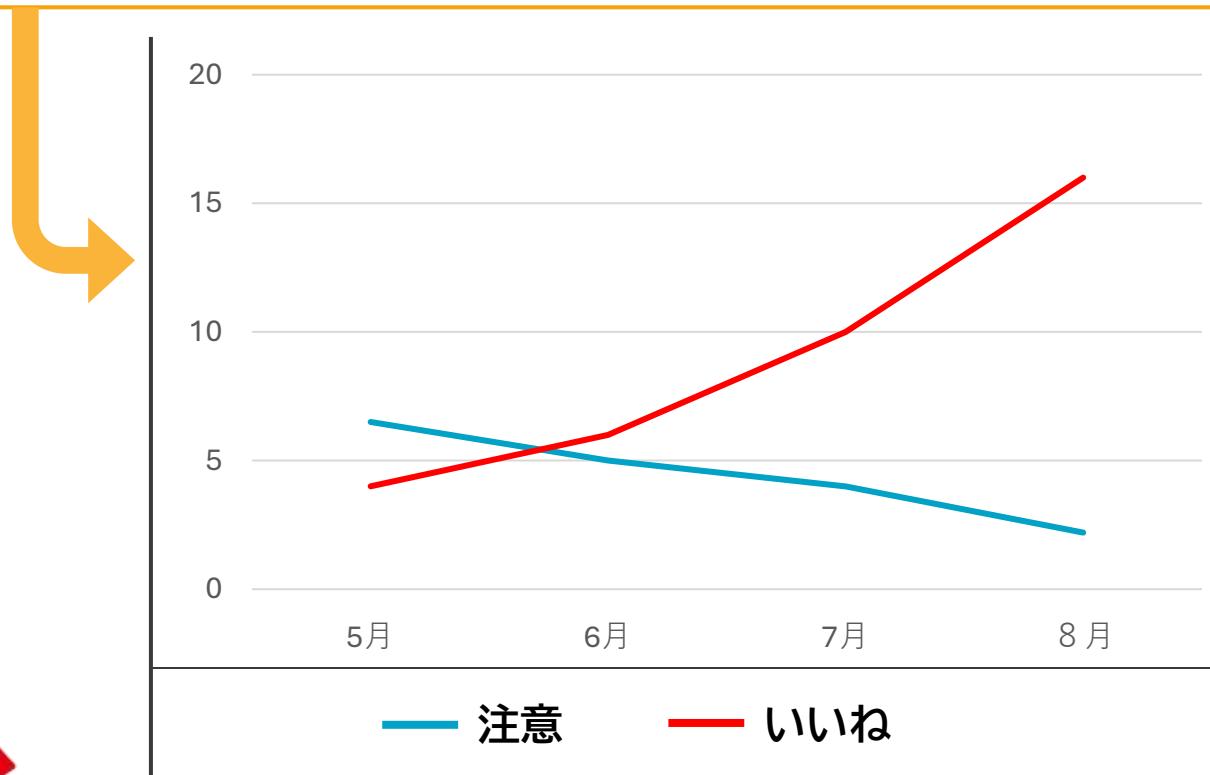




Personal File導入に向けたアップデート

指導・フィードバック記録の蓄積

このフィードバックは「注意」「警告」「いいね」といった項目で分類することができ、社員の成長がグラフとして可視化されている。





実習生向け実習記録表の構築

Personal Fileの構築のためにアップデートされた日報システムを、弊社に来ている実習生へのフィードバックとして活用できないかと考え、実習記録表を作成した。

稼働入力画面

実習生がどのような業務を実施したのか、その内容と実習生本人の感想を記入できる。

自ら変わろう！
努力を継続しよう
笑顔を繋げよう！



実習生向け実習記録表の構築

各種検査結果

実習の日数や本人の希望にもよるが、
社員に向け実施している検査を行い
その結果を記録する

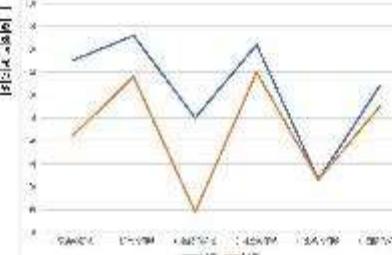
実習後渡される冊子



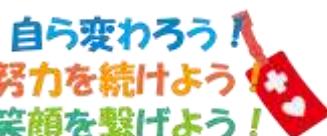
実習生用検査結果シート

GATBの結果

GATB検査結果		
検査項目	検査結果	参考値
歩行時間	40	40
歩行距離	2	2
歩行頻度	3	3
歩行強度	2	2
歩行姿勢	2	2
歩行時間	24	24



VRTの結果





実習生向け実習記録表の構築

各業務それぞれ支援者からのフィードバックが入力される。

実習後渡される冊子



自ら変わろう！
努力を継続しよう
笑顔を繋げよう！

支援者からのフィードバック

まとめ

実習
出退社時、入退室時の挨拶等と同様に整頓なく出来ていました。
実習のみの人へでも聞こえやすい感じもあり、自ら進んで接拶されておりとても良かったと思います。

集連相
初めて手渡す内容の確認や久しぶりに会った等の挨拶もありましたが、「着席不好・修正報告あり」が不明、少時間についてとてもよく出来ていました。
お読みある際は、どこまで出来ていて困っているのか整理して相談できれば良いです。
また、フレディーが起きた時に適切に反応し、他の声がでせるところも有難うしいと思います。

指示の受け方
指示を受けるとすぐに書く欄めることを出来ており、そのメモを見ながら業務が出来ていました。
また、指示を受けた時に不思議や参考事例などがある場合は自分で確認することが大切だと思います。
確認するタイミングで指示を出す人の名前を最後まで聞いていたり確認させてもらひ良かったと思います。

業務遂行
動画化、資料のPDF化、ファイル名の統一・修正、ペーパーライフタスクを行いました。

動画作成: 指示内容を動画作成と動画作成用材の作成を行っていましたが、指示通りの動画およびナレーション、素材の「山本山本」といいました。指示を聞いてても良いペースで作成出来ていたと思います。動画確認ツイッターアカウントで確認したことないのですが、聞いてくださいました。内心で感想「ながら覚えてる」と思いました。

業務のPDCA化: PDCA化は最初の段階で行つていましたが、具体的な操作方法を教えていたのが少なく思えました。PDCA化、その後の実施の形態が動きや作業量の変化から、各名簿に沿ってはまるのがなかなか図書にならなかったとあります。指示するに際してはどちらかで複数の作業を行うことが出来ていました。

各ファイル名の整理・統一: 各担当でPDF化したものと名前を同じ命名規則に従って整理する業務を行いました。ミスなくファイル名の変更を行うことが出来て、作業時間も結構短時間で済みました。

各ページ: クラシック手帳を開きながら手帳を完成させることが出来ていました。隣り合った欄をやれども切り方、しっかり整理していくこと、上手く立ち上げることが出来ました。短時間でかわらーカーを作ることが出来て、安定期のある東大入を完璧させることができました。

全ての作業において、非常に集中力高く取り組んでいました。

挨拶

最初に挨拶をしましたが、会員登録を済ませ、最後まで高齢者で対応していました。
GW前にフレッシュ方式で社説を読み、現状について心がけてはいることを伝えしていましたが、GW後に紙ベーススラップ等を取り入れてメリハリをつけて実習山本でいる様子が見えて、られました。個人の方次第では自分のフレッシュに必要なか、必要な書類はあるのか等、フレッシュ要素が導かれれば人はアドアなので、芦原に合った方法や体験のやり方を今後も探してして頂きたと感じます。

内勤の人のへの対応: カウンセラーのやり方、医師口下手すに精神面に取り扱いの改善は意識していい影響をうけましたと感じます。**内勤**の京都市東方がまたは山本知れた研修になりました。丁度大雪が発生でした。

挨拶

報連相

指示の受け方

業務遂行

総括



今後について

特別支援学校の生徒向けにも展開し、検査結果を使用した能力開発やキャリア研修等を実施することで、一人でも多くの障がい者が自分のキャリアを考えられるよう貢献していきたいと考えている。



うさぎのSuu。名前の由来は、
『Step Up Unlimited』の頭文字

